

# ポンポコ新聞

[Ponpoko News]

第 58 号



=発行=

2015年2月22日

喜多見ポンポコ会議

[www.ab.auone-net.jp/~ponpoko](http://www.ab.auone-net.jp/~ponpoko)

## ホームドラマ！

2004年、TBS金曜22:00～22:54

東南アジアツアー中の観光バス転落事故で愛する者を亡くした人たちが同じ一軒家に住み家族を作っていく物語。主人公・井坂将吾(堂本剛)の勤務先が喜多見1丁目の【大槻ホーム】、実在する会社名のままで登場します。じんわりと人の温かさを感じる素的なドラマに喜多見が登場し、ちょっと嬉しくなります。

## 花より男子2(リターンズ)

2007年、TBS金曜22:00～22:54

超金持ち名門高校に通う貧乏少女が、学園を牛耳る御曹司4人組とぶつかり、トラブルに巻き込まれながらも、たくましく生きていくラブストーリー。第6話で、バレンタインデーの日に主人公・牧野つくし(井上真央)が恋人・道明寺司(松本潤)から以前にもらったペンダントを返し、怒った司が投げ捨てた場所が【野川】の谷戸橋、流されていくペンダントをつくしが追いかけ、神明橋下流で拾います。

## クローズド・ノート

2007年公開、東宝

小学校教員志望の大学生・堀井香恵(沢尻エリカ)が、引越先のアパートで前の住人が残したノートを読み進め、同じ頃アルバイト先へ万年筆を買いに来たイラストレーター・石飛リュウ(伊勢谷友介)に惹かれていく物語。香恵がリュウを呼び出したのが【喜多見5-21子ども遊び場】、オオシマザクラの下にあるベンチに座って話します。知行院も背景に映し出され、知恩院や南禅寺の風景とのつながりが違和感なく、まるで京都のようです。

## ロケ地・喜多見 平成編

# あのドラマや映画にも 喜多見が登場

喜多見は映画やドラマで使われることがよくあります。前回の昭和編に続き今回は平成のドラマや映画の中から6つご紹介します。どれもDVDが販売されていますので、ぜひご覧になってみてください。



司がペンダントを投げた橋



つくしが追いかけた野川



リュウが上った滑り台



香恵とリュウが座ったベンチ



世田谷通り警察署の“うぬぼれ”が利用した喜多見駅

## ヴォイス～命なき者の声～

2009年、フジ月曜21:00～21:54

法医学ゼミに所属する5人の医学生が人の死と向き合う姿を描いた物語。第7話で、病に侵され亡くなった静代が、生前、夫のために目覚まし時計を買いに行った店が喜多見商店街の【村田電器】です。加地大己(瑛太)が訪れ、死に至るまでの背景や真相を解き明かしていきます。

## うぬぼれ刑事

2010年、TBS金曜22:00～22:54

恋愛体質でうぬぼれが強い世田谷通り警察署の刑事“うぬぼれ”(長瀬智也)が、毎回、真犯人の女性に一目惚れ→犯行を突き止めた際に「罪を見逃す代わりに自分と結婚する」か「求婚を受け入れなければ逮捕」かを迫る→後者を選択されて逮捕、失恋するというパターンで展開。第1話からさっそく登場するのが【喜多見駅】です。脚本(一部演出も)は宮藤官九郎です。

## ハングリー！

2012年、フジ火曜22:00～22:54

オーナーシェフの母が急逝し、ミュージシャンの夢から一転、実家の人気フレンチレストランを継ぐことになり、かつてのミュージシャン仲間と一緒に奮闘する物語。主人公・山手英介(向井理)が作る料理の虜となった大学生・大楠千絵(瀧本美織)の実家の畑が喜多見1丁目の石井さんの【畑】で、石井さんは演技指導もしました。向井理と恋人役の国仲涼子は、この共演をきっかけに昨年12月に結婚しました。

今、小学2年生の担任です

## 茗花 啓さん



喜多見小中学校出身、「いつか喜多見の子どもたちの教育に携わることができたらと思います」

— 子どもの頃の思い出は？  
「探検するのが好きで、友達とじゃんけんしてどっちに行くか決めるみたいな、目的地を決めず、未開の地に入っていくワクワク感を楽しんでいました。この道とあの道はつながっていたのかと、新たな発見があるのも魅力的でした」

— どうして小学校の先生になりたいと思ったんですか？

「中学生の時に、小学生の頃の担任の先生と再会しました。卒業してなお、子ども一人一人の内面を見てくれる温かく、大きな先生でした。そんな人間に私もなりたいと思い、教師を目指しました」

— 先生になつていかがですか？  
「今は2年生の担任をしています。子どもの成長過程が見られて毎日が楽しいです。日々、子どもと接することで私自身学ぶことが多く、大きなやりがいを感じています。壁に当たったり、失敗することもありますが、教師という職業を誇りに思い、生活しています。いつか、私も喜多見の子どもたちの教育に携わることができたらと思います」

二の橋商店街の世田谷通り近く

## ら りゅぬ



狛・岩戸北4-17-13、電話3430-7897、木休み

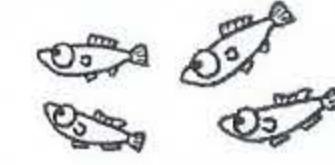
一見園芸店と見間違えそうなはずらり植木鉢が並べてあるお店。フランス語で『月』を意味するこの店は実はヨーロッパ特にEU諸国の料理を得意とする洋食屋です。ワインもふんだんに取り揃えてあります。内部空間も大黒柱ならぬ大黒木とでも呼びたいような古木がでんと構え、木が多用されたぬくもりが感じられるものとなっています。

今年で13年目を迎えたこの店のシェフはケーキ店、レストラン、ワインバーなどで経験を積んだマルチシェフ。食材などの安全にこだわり何よりも正直につくることをモットーとしています。それゆえ季節や材料の関係で作れないものも出てくるそうです。常時3種類あるパンもシェフのこだわりのひとつ。「戒めのパン」と呼んでこのパンをつくるために毎日必ず昼の12時には厨房に入るようにしていて自身の行動を律するものでもあるそうです。

週末はランチ独自のメニューがあり主婦層や女子会の利用も多いそうです。ぜひこの不思議空間でご賞味あれ！

みんなでつくる野川その後

## 今後も見守ります



### メダカが復活

10月18日(土)、秋の野川ガサガサを行いました。参加者は大人13・小学生11・幼児12の計36人。深かつたり流れが早く危険な場所があるため中野田橋～喜多見大橋の左岸限定です。それでも足元に魚の群れが大量に泳ぎ、収穫はメダカ(オイカワの稚魚も含まれているかもしれません)575・シマドジョウ49・エビ654など計15種類1328匹、台風の影響かこここのところ激減していたメダカが復活しました。



### 工事業者と植物を移植

11月25日(火)と29日(土)、野川の多自然連絡会で、今年度の工事区間(雁追橋付近)にあったヨシやヤナギなどを工事終了区間(中野田橋下流)へ移植しました。25日には工事業者の方も機械を使って手伝ってくださいり、次第に大雨になったため、29日にも続きの作業をしました。春になり、中野田橋下流にヨシがたくさん生えて水を浄化してくれることを期待しています。

## 土砂堆積について相談

昨年度の工事で、喜多見大橋あたりに土砂が堆積し、上流の階段周辺は深く流れが止まったプール状態、淀んで悪臭を放つようになってしまいました。東京都の担当者と相談し、左岸(成城)側に水路を掘り、右岸(次大夫堀公園)側の土砂を削ってもらうなどしました。今後も相談しながら見守っていきます。



水路を掘つてもらいました

## INFORMATION

### △冬の野川ガサガサ&ごみ拾い

[日時] 2月22日(日)

10:00～11:00 ごみ拾い

11:00～12:00 野川ガサガサ

[持物] 長靴、ゴム手袋、暖かい服装

[集合] 次大夫堀公園築山横の野川階段

## 訃報

イスラム国に殺害されたとされるジャーナリストの後藤健二さんは、砧中学校の卒業生だったそうです。困難な環境の中で暮らす子ども達に目を向け発信していました。このようなことがなぜ起きどうしたら解決できるのか、身近な所から考えていきたいと思います。